


農業情報（令和6年10月）

内容	写真等	とき・ところ 主体・対象（構成員数）
<p>愛知県育成品種ナス「試行17-22」、独自ブランド「紫煌」で出荷開始！</p> <p>施設ナスの生産部会である東海茄子研究会は、令和5年作から従来品種「千両」を愛知県育成品種「試行17-22」に全面切り替えて栽培しています。「試行17-22」は黒紫色が強く、ツヤ=煌（きら）めきが強いことから同研究会は独自ブランド「紫煌（しこう）」と銘打ち、本年作から販売を始めました。出荷箱のデザインを一新し、大きく「紫煌」のロゴを印刷しました。「紫煌」は果実のヘタにとげがないため、生産者だけでなく選果場の職員からも好評でした。「紫煌」は名古屋青果を通じて中京市場に出荷する他、直売所「げんきの郷」でも販売しています。</p>	 <p>箱詰めされたナス「紫煌（しこう）」</p>	<p>令和6年10月29日 東海市・東浦町</p> <p>東海茄子研究会 (7名)</p>